

民謡流し、コンサート、そして花火大会

5年ぶりに黒埼まつりが開かれる



大民謡流し 17日夜、大野二ノ町から八区までの通りで行われました。「黒埼よいとこ」「佐渡おけさ」「新潟湯甚句」を町民謡連盟の皆さんの歌と伴奏で踊りました。参加者はおよそ1500人。今年は参加者対象に、抽選会も行われ、月岡一泊クーポン券10本、コシヒカリ5kg 100本が賞品。写真下は、民謡流し終了後、賞品を受け取る皆さん。



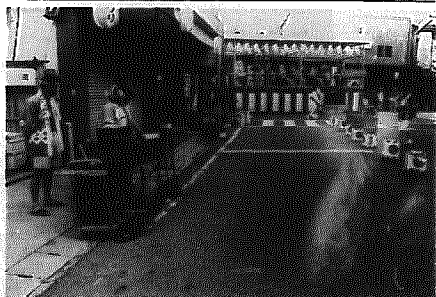
黒埼まつりが、昭和六十一年以来五年ぶりに復活し、八月十七日(土)、十八日(日)の二日間、盛大に催されました。十七日は町芸能保存会がふれ太鼓でまつり気分を盛り上げ、夕方には大野町商店街で大民謡流しが開催されました。十八日は会場を総合体育館・農村環境改善センター周辺に移し、お祭り広場・コンサート・花火大会が行われました。特に花火はほぼ三十年ぶりでもあり、町内外からたくさんの方が詰めかけ、黒埼まつりのフィナーレを華麗に飾りました。



ふれ太鼓 町芸能保存会から太鼓2人、笛2人、それに運転手と会長が、全町を回って黒埼まつりを知らせます。午前中は板井、木場、黒鳥をまわり、午後から北部地区や大野をまわりました。

まつりの前

民謡流しの前に音響施設の調整をする。向こう側に見えるのは、民謡連盟の皆さんが演奏する舞台。



◀民謡流しが終わったあと、会場の大野町商店街の道路を掃除する。町婦人会の皆さんが自主的にやった。

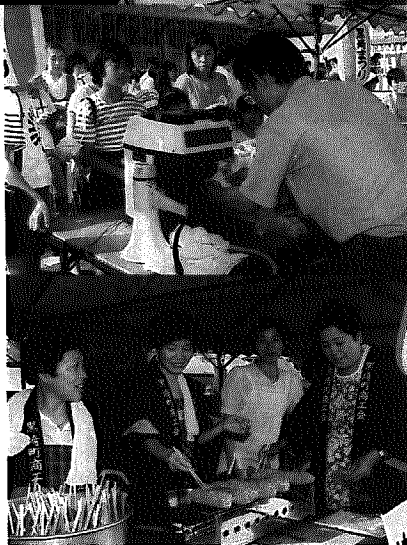
まつりのあと



黒埼まつり



おまつり広場 十八日の午後、総合体育館前で、町商工会を中心に、おまつり広場が開かれました。子供たちに大人気の輪投げ(写真上)やかき氷(写真中)、金魚すくいなどお祭りに欠かせない出店のほか、ゴーカートや巨大なコアラ(中に入れる)なども登場。写真下は焼きトウモロコシを売る商工会の皆さん。

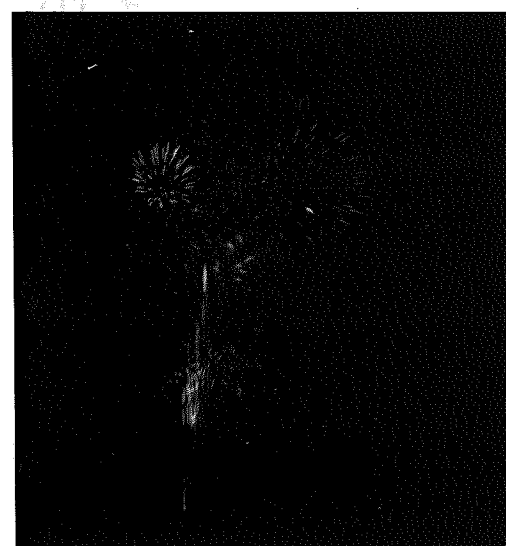


花火大会 昭和37年ころに大野で花火をやった以降、実にほぼ30年ぶりに黒埼町内で開かれた花火大会。町内の企業・商店などから寄付を受け全部で182発が打ち上げられました。おおむね好評で「花火の間隔がちょうどよくて、見あきないね」という声を聞きました。



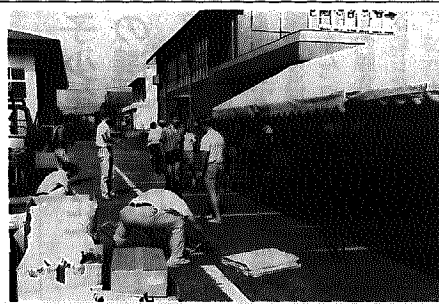
コンサート 農村環境改善センターでループとプロのカントリー・アンド・ウェスタンバンドのパーンストーム&カンパニーのコンサートが行われました。アマチュアバンドは、本格的なロックのMOB(燃えるおにいさんバンド)、ギターの弾き語りサンダー柜、ファンク・ロックのウェーブ。パーンストーム&カンパニーともども、それぞれ違った個性で、聴衆をひきつけていました。

農村環境改善センターでループとプロのカントリー・アンド・ウェスタンバンドのパーンストーム&カンパニーのコンサートが行われました。アマチュアバンドは、本格的なロックのMOB(燃えるおにいさんバンド)、ギターの弾き語りサンダー柜、ファンク・ロックのウェーブ。パーンストーム&カンパニーともども、それぞれ違った個性で、聴衆をひきつけていました。



まつりの前

おまつり広場の会場づくり。まず、テントを建てて、それから機材や商品などを搬入します。



◀花火大会の翌日、会場のゴミ拾いをする黒埼まつり実行委員会の皆さん。ゴミ袋8袋分もありました。

まつりのあと

